

13

天

天

天

天



8000-1

558

H-0002

0122

大正十一年二月七日提出
建議第三四號

義和團事件賠償金還付ニ關スル建議案

右成規ニ據リ提出候也

大正十一年二月七日

提出者

荒川五郎

鈴木久次郎

飯塚春太郎

菊池良一

加藤定吉

松井鉄夫

關和知

佐々木千秀

野村嘉六

佐藤啓

山道襄一

永井柳太郎

贊成者

井上剛一

石井研二

磯貝浩

一柳伸次郎

和

支那文化事業



6000-1

559

H-0002



望月小太郎	森田茂	森山儀文治	森達三
清水留三郎	重松重治	樋口秀雄	平出喜三郎
三木武吉	三浦得一郎	下岡忠治	下田勘次
定行八郎	佐竹庄七	佐久間啓莊	箕浦勝人
坂口仁一郎	齋藤宇一郎	作間耕逸	齋藤巳三郎
秋 斥太郎	淺賀長兵衛	阿由葉勝作	淺川 浩
手島鐵司	安達謙藏	淺野順平	綾部惣兵衛
古賀三千人	木檜三四郎	小池仁郎	出口直吉
古屋慶隆	藤井啓一	小泉又次郎	小山松壽
山 移定政	正木照藏	牧口義矩	降旗元太郎
野尻彌重郎	黒金泰義	八並武治	山邊常重
津 原 武	中野寅吉	内藤濱治	紫安新九郎
田中武雄	武内作平	龍口了信	添田飛雄太郎
高田耘平	高橋久次郎	田中善立	田中萬逸
吉田磯吉	武富時敏	頼母木桂吉	高木正年
川 崎 克	横山勝太郎	横山金太郎	吉川吉郎兵衛
香川保忠	金澤安之助	金田平兵衛	門屋尙志
岡本幹輔	河野廣中	川副綱隆	神谷彌平
大津淳一郎	大竹貫一	太田信治郎	小野重行
本田恆之	本間三郎	友田文次郎	中馬興丸
早速整爾	早川龍介	橋本喜造	濱口雄幸



8000-1

501

8000-1

500

H-0002

0124

粟山博 鈴置倉次郎 鈴木富士彌 鈴木周三郎

四

8000-1 502



義和團事件賠償金還付ニ關スル建議

義和團事件賠償金トシテ中華民國政府ヨリ受取ルヘキ金額ノ一部ハ之ヲ民國ニ還付シテ之ヲ日本留學生ノ學資ニ充テシメ一部ハ民國ニ於ケル我カ學校病院其ノ他ノ文化事業ニ補助使用セシムヘ

右建議ス

五

8000-1 503



H-0002

0125

義和團事件賠償金還付ニ關スル建議案理由書

世界ノ大勢ハ吾々國民自己存立ノ爲將又世界平和ノ爲銳意努力スヘク決シテ一日ノ偷安ヲ許ササルノ秋ナリ而シテ其ノ之ヲ爲スノ途ハ日華兩國ノ親善提携ヲ圖ルヨリ急ナルハ莫ク兩國親善提携シテ平和的結合ヲ爲スヲ得ハ獨リ東洋平和ノ保障タルノミナラス眞ニ世界人類ノ幸福ヲ増進シ其ノ平和ニ貢獻スル所以タラズムハ非ス此ノ光榮アル目的ノ爲ニ出來得ル犠牲ヲ惜マス最善ノ方法ヲ講スヘキハ洵ニ吾等ノ責務タルナリ其ノ途多端又多岐ナルヘキモ今茲ニ之カ第一善手トシテ義和團事件賠償金ノ一部ハ之ヲ民國ニ還付シテ日本留學生ノ學資ニ充テシメ一部ハ之ヲ民國ニ於ケル我カ學校病院其ノ他ノ文化事業ニ補助使用セシムルハ是レ最事宜ニ適スルノ處置タルヲ認メ茲ニ本案ヲ提出スル所以ナリ

七

S

8000-1

564

0126

H-0002

對支文化事業

衆議院委員會

衆議院に於ける對支文化事業の調査報告書... 衆議院委員會は十六日午前十時五十分開議... 附設されたる對支文化事業賠償金還付に關する建議案の提出者荒川五郎氏...

のなれば未だ對支文化事業の調査報告書... 衆議院委員會は十六日午前十時五十分開議... 附設されたる對支文化事業賠償金還付に關する建議案を提出し、荒川五郎氏より附議案あり... 衆議院に於ける對支文化事業の調査報告書...

新聞 大正 年 月 日

對支文化事業



8000-1

535

H-0002

0127

門類
項目
號

秘

義經(國)事件「賠償金撥付」
(文部省)

大正十二年二月

大正十二年六月廿九日記錄係接受
未定稿

(已號用紙)四

大正七年九月二十一日後藤外務大臣ヨリ章支那公使ニ對シ左記ノ如キ非公式覺書ヲ手交シタリ

帝國政府ハ日支隣交ノ増進ニ眷々タルノ衷情ヲ表彰セムカ爲追テ適當ノ時機ニ於テ義和團事件賠償金ノ請求權ヲ拋棄スルノ内意ヲ有ス其ノ辨法ニ至リテハ更ニ考量ヲ盡クシ決定セムトス

右覺書中ニ所謂「請求權ヲ拋棄ス」トハ稍語弊アリト雖右ハ從來ノ如ク賠償金ヲ日本政府ノ歳入トナシ日本政府自身ノ目的ノ爲ニ使用セサルノ趣旨ト解スヘシ而シテ其後辨法ニ付考慮ヲ盡シタル結果之

外務省

S 8000-1 566

(已號用紙)四

ヲ主トシテ支那人ノ爲ニ最モ有效ニ使用センニハ支那政府ニ還附スルコトナク日本側ニ於テ直接之ヲ對支文化事業ニ使用スル方其實效ヲ擧クル上ニ於テ適ニ確實ナリト認メタルヲ以テ偶々大正十一年六月十九日支那政府ヨリ別紙甲號ノ通二年間支拂延期ノ申出アリタルカ帝國政府ハ大正十一年八月二十五日ノ閣議ニ於テ支拂延期ハ同年十一月ヲ以テ打切り其後ハ豫定ノ通支那政府ヲシテ支拂ヲナサシメ帝國政府ハ從來ノ方針ニ基キ右金額ヲ日本ノ爲ニ使用スルコトナク手續上一旦帝國政府ノ歳入トシテ受入ルルモ歳出豫算ノ成立ヲ俟テ之ヲ對支文化事業ニ使用スルコトニ決定シ(參考資料第一輯六參照)右ニ基キ十一月二十九日在支小幡公使ヨリ別紙乙號ノ通支那政府ニ申入レ本年一月十日更ニ別紙丙號ノ通申入レシメタルニ支那政府ヨ

外務省

S 8000-1 567

H-0002

0128

(已 號 用 紙)

リハ本年 月 日附公文ヲ以テ別紙丁號ノ通回答シ來リタルカ
如キ次第ニシテ該賠償金ノ處分方法ニ關シテハ支那側ト完全ナル諒
解ヲ遂ケタル次第ナリ

尙在本邦支那代理公使及同公使館員ハ外務次官、亞細亞局長其他係
員等ニ對シ速ニ對支文化事業特別會計法察及之ニ附帶スル追加豫算
ヲ速ニ議會ニ提出センコトヲ希望スル旨申越シタルコトアリ以テ支
那側ノ意向ヲ察スルニ足ルヘシ

外 務 省

S

8000-1

568

H-0002

0129

譯文

以書翰致啓上候陳者團匪賠償金支拂延期ノ件ニ關シ本年十二月一日五ヶ年ノ期限滿了スルモ本國現時ノ財政狀態ヲ以テシテハ期限到來スルモ即時繼續支拂ノ儀到底不可ニ付テハ熟考ノ結果更ニ二箇年ノ延期ヲ請ヒ窮乏セル財力ノ稍々恢復セル後何分ノ辦法ヲ商議スルコトニ被致度情誼素ヨリ敦厚ナル貴國政府ハ本國政府財政ノ窮乏ニ鑒ミ事情御諒察相成度此段及照會候條貴國政府ニ御轉達相成度御贊同ノ旨御回答ニ接セハ不堪幸之至候云々

大日本帝國特命駐支全權公使 小 幡 殿

外交總長 顏

外 務 省

(已號用紙三)

8000-1 569

第二二五號

以書翰致啓上候陳者庚子事變賠償金ニ關シテハ曩ニ千九百十七年貴國參戰ノ際ニ於ケル必要ニ應スル爲聯合各國ニ對スル支拂ヲ爾後五箇年間猶豫スルコトト相成リ右ハ本年十二月一日ヲ以テ該期間滿了ト相成候處貴國政府ニ於テハ財政上ノ困難アル趣ヲ以テ更ニ向フ二箇年間是カ支拂猶豫方本年六月十九日附貴翰ヲ以テ御來照ノ趣致閱悉候然ル處本件ニ就テハ帝國政府ニ於テモ篤ト考慮ヲ加ヘ候得共今同ノ御申出ハ前回猶豫ノ際トハ全然其ノ趣ヲ異ニシ其ノ理由彼是相同シカラサル而已ナラス現ニ關稅收入ニ就テハ爾來前後二回ノ關稅改訂ヲ經近ク新稅率ノ實施ト共ニ著シク其ノ收入ヲ増加スヘク特別困難ナル貴國財政整理ノ問題ハ不遠關稅二分五厘附加ニ關スル特別

(已號用紙二)

外 務 省

8000-1 570

(已 號 用 紙)

會議開會ノ節附議セラルルコトト思考セラレ加之帝國政府ニ於テハ
本年十二月一日以後支拂ヲ受クヘキ本件金額ニ付其ノ既定ノ財政計
畫有之旁今俄ニ之カ變更ヲ許ササルノ事情ニ有之候
就テハ右ノ次第ニ付折角ノ御申出ナルモ帝國政府ニ於テハ乍遺憾貴
意ニ副フニ便ナラサル事情ニ有之候間右様御諒知相成度此段帝國政
府ノ訓令ニ依リ回答得貴意候 敬具

大正十一年十一月二十九日

日本帝國特命全權公使 小 幡 西 吉

支那共和國外交總長 顧 維 鈞 殿

外 務 省

S 8000-1

571

H-0002

0131

以書翰致啓上候陳者義ニ民國六年十二月十五日附貴部節略ヲ以テ同年十二月以降十一年十二月（即西曆一九一七年十二月乃至一九二二年十二月）ニ至ル庚子賠款支拂猶豫額ハ原定庚子賠款償還年度表ニ照ラシ順次之ヲ繰延ヘ即チ一九四五年ニ至リ全部償還ヲ完了セシムルコトトセラレ度旨御來照ノ次第アリタルニ對シ當時帝國政府ニ於テハ右猶豫全額ハ該五ケ年支拂延期期間満了後一九二二年十二月以降一九四〇年ニ至ル十八年間ニ分割償還スルノ辦法ヲ以テ公平妥當ト思考シ此旨大正七年一月二十一日附當館覺書ヲ以テ貴國政府ニ申入置タルハ豫テ御承知ノ通ニ有之候處今般右五ケ年間ノ支拂猶豫期

（已號用紙三）

外務省

S 8000-1 572

（已號用紙）

間満了ト共ニ本件賠款ノ支拂舊ニ復スルニ當リ帝國政府ハ現ニ貴國財政ノ情形ニ鑑ミ前記御來照ニ對シ更ニ好意的考慮ヲ加ヘタル結果特ニ本件貴國政府ノ希望ヲ容レ原定償還年度表中ニ在ル各年度ノ支拂額ヲ順次五ケ年宛繰下ケ一九四五年度ニ至ツテ全部ノ償還ヲ完了スルコトニ異存無之從テ客年十二月ニハ大正六年（一九一七年）十二月分ニ相當スル金額ヲ又本年度ニ於テハ大正七年（一九一八年）度分ニ該當スル金額ノ支拂ヲ受ケ斯ク順次各年度割ヲ繰下ケ大正二十五年（一九三六年）迄ハ毎年元利合計金二百六十六萬三千五百五圓九錢宛ヲ又大正二十六年（一九三七年）ヨリ大正三十四年（一九四五年）迄ハ毎年金三百八十四萬五千六百十六圓四十七錢宛（外ニ不足金六千八百二十三圓七十八錢アリ）ノ支拂ヲ受クルコトト相成候

外務省

S 8000-1 573

就テハ爲念右ニ對シ貴國政府ノ確認ヲ得度併セテ右支拂履行方ニ關
シ至急當該官憲ニ訓令方御取計相成度此段帝國政府ノ訓令ニ依リ照
會得實意候 敬具

大正十二年一月十日

日本帝國特命全權公使 小幡 西吉

支那共和國外交總長 施肇基 殿

(已 號用紙)

外務省

S 8000-1 574

H-0002

0133

對支文化事業

(已號用紙)

對支文化事業ニ關スル閣議案

對支文化事業實施ノ方針ニ關シ左ノ通り閣議決定ヲ請フ

一、兩陣賠償金收入ヲ以テ一ノ特別會計ヲ設置シ日支親善ノ目的ヲ以テ主トシテ之ヲ支那人ノ爲ニスル文化事業基金ニ充テ尙ホ其ノ一部ヲ漸次積立ツルコト

二、山東懸案解決ニ關スル條約、山東懸案細目協定及山東懸案鐵道細目協定ニヨリ公有財産、鐵道及嶺山等ノ補償トシテ受領スヘキ現

外務省

S 8000-1 575

(已號用紙)

金及支那國庫證券(獨逸賠償額ニ該當スル分ヲ除ク)ハ之ヲ前項對支文化事業基金特別會計ニ繰入レ又ハ歸屬セシムルコト但シ右補償金收入ハ之ヲ支那ニ於ケル前項以外ノ文化事業ニキ使用スルコト

三、對支文化事業ヲ經營スル民間機關ニシテ同種ノ目的ヲ有スルモノハ可成之ヲ統一スルノ方針ヲ採リ其ノ内容ノ充實改善ヲ期スルコト

四、外務省内ニ特別機關ヲ設ケ對支文化事業基金特別會計ニ屬スル各般ノ事務ノ掌理、該事業ノ指導監督並之カ調査研究ニ任セシムルコト

外務省

S 8000-1 576

H-0002

0134

(已 號 用 紙)

對支文化事業ニ關スル閣議案

對支文化事業實施ノ方針ニ關シ左ノ通り閣議決定ヲ請フ

一、國庫賄填金收入ヲ以テ一ノ特別會計ヲ設置シ日支親善ノ目的ヲ以テ主トシテ之ヲ支那人ノ爲ニスル文化事業基金ニ充テ尙ホ其ノ一部ヲ漸次積立ツルコト

二、山東懸案解決ニ關スル條約、山東懸案細目協定及山東懸案細目協定ニヨリ公有財産、鐵道及嶺山等ノ補償トシテ受領スヘキ現

外 務 省

S 8000-1 577

(已 號 用 紙)

金及支那國庫證券(勸進賠償債ニ該當スル分ヲ除ク)ハ之ヲ前項對支文化事業基金特別會計ニ繰入レ又ハ歸屬セシムルコト但シ右補償金收入ハ之ヲ支那ニ於ケル前項以外ノ文化事業ニテ使用スルコト

三、對支文化事業ヲ經營スル民間機關ニシテ同種ノ目的ヲ有スルモノハ可成之ヲ統一スルノ方針ヲ採リ其ノ内容ノ充實改善ヲ期スルコト

四、外務省内ニ特別機關ヲ設ケ對支文化事業基金特別會計ニ關スル各般ノ事務ノ掌理、該事業ノ指導監督並之カ調査研究ニ任セシムルコト

外 務 省

S 8000-1 578

H-0002

0135

(已 號 用 紙)

對支文化事業ニ關スル閣議案

對支文化事業實施ノ方針ニ關シ左ノ通り閣議決定ヲ請フ
一、關陸贖國金收入ヲ以テ一ノ特別會計ヲ設置シ日支親善ノ目的ヲ以テ主トシテ之ヲ支那人ノ爲ニスル文化事業基金ニ充テ尙ホ其ノ一部ヲ漸次積立ツルコト

二、山東懸案解決ニ關スル條約、山東懸案細目協定及山東懸案處理細目協定ニヨリ公有財産、鐵道及嶺山等ノ補償トシテ受領スヘキ現

外 務 省

S 8000-1 579

(已 號 用 紙)

金及支那國庫證券(獨逸賠償額ニ該當スル分ヲ除ク)ハ之ヲ前項對支文化事業基金特別會計ニ繰ハレ又ハ歸屬セシムルコト但シ右補償金收入ハ之ヲ支那ニ於ケル前項以外ノ文化事業ニテ使用スルコト

三、對支文化事業ヲ經營スル民間機關ニシテ同種ノ目的ヲ有スルモノハ可成之ヲ統一スルノ方針ヲ採リ其ノ内容ノ充實改善ヲ期スルコト

四、對省内ニ特別機關ヲ設ケ對支文化事業基金特別會計ニ屬スル各般ノ事務ノ掌理、該事業ノ指導監督並之ヲ調査研究ニ任セシムルコト

外 務 省

S 8000-1 580

H-0002

0136

秘

對支文化事業基金特別會計法案

第一條 對支文化事業基金ヲ置キ其ノ歲入歲出ハ一般ノ會計ト區分シ特別會計ヲ設置ス

第二條 本會計ニ於テハ支那國ヨリ受領スル團匪事件賠償金元利金一般會計ヨリノ繰入金、寄附金、運用利殖金及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歲入トシ支那國ニ於ケル及支那人ニ對スル教育、衛生及救恤等ノ文化事業及事業ニ對スル補助、事務取扱費其ノ他ノ諸費ヲ以テ其ノ歲出トス

亞細亞局第二課

Handwritten signature

(已號用紙)

外務省

(S) 8000-1 581

第三條 寄附金ニシテ特ニ用途ヲ指定シタルモノハ其ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第四條 本會計ノ歲出トシテ基金ヲ使用スルハ毎年度金二百五十萬圓ヲ超過スルコトヲ得ス

(已號用紙)

第五條 對支文化事業基金ニシテ毎年度内ニ使用セサルモノハ遞次之ヲ翌年度ニ繰越スヘシ

第六條 對支文化事業基金ハ大藏省預金部ニ預入ルヘシ

第七條 政府ハ毎年度本會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第八條 本會計ノ收入支出ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

外務省

(S) 8000-1 582

H-0002

0137

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(日 號 用 紙)

外
務
省

S

8000-1

583

H-0002

0138

秘

法律案

山東懸案解決ニ關スル條約、山東懸案細目協定及山東懸案鐵道細目協定ノ規定ニヨリ公有財産、鐵道及鑛山ノ補償額トシテハ日本國ノ受領スヘキ現金及支那國庫證券ハ賠償金特別會計ニ繰入レ又ハ歸屬セシムルコトヲ得

外務省

(B 號用紙)

S

8000-1

584

H-0002

0139

秘

對支文化事業基金特別會計規則案

第一條 本會計ノ收入支出及本會計所屬物件ノ保管出納ハ會計規則
物品會計規則及明治二十六年勅令第七十號ニ依ル

第二條 支那留學生ニ對スル給與ハ必要アルトキハ前金拂ヲナスコ
トヲ得

支那留學生ニ對スル給與ハ支給事務ノ委託ヲ受ケタル者ヲ受取人
トシ概算渡ヲナスコトヲ得

第三條 特ニ用途ヲ指定シタル寄附金ニシテ毎年度内ニ仕拂請求書
ヲ發スルニ至ラザリシ殘額ハ總テ翌年度ニ繰越シ使用スヘシ其ノ

(已號用紙)

外務省

S 8000-1 585

仕拂請求書ヲ發シテ年度内ニ仕拂ヲ終ラザリシモノハ仕拂未済ト
シテ之ヲ翌年度ニ繰越シ計算スヘシ

(已號用紙)

外務省

S 8000-1 586

H-0002

0140

秘

修正案

對支文化事業實施綱領

支那文化事業

- (一) 對支文化事業ニ關スル諸般ノ準備、研究並事務掌理ノ爲外務省ニ對支文化事業調査部ヲ置キ亞細亞局長ヲ部長トナシ專任事務官四人、屬十二人及囑託八人ヲ置クコト
- (二) 對支文化事業ニ關スル諮問機關トシテ委員才選任スルコト
該委員ハ關係係局長、學者、民間有力者等ヲ加ヘ其數ヲ約三十名トスルコト
- (三) 在本邦支那留學生ニ對シテハ過渡的辦法トシテ差當リ大正十二年度

S 8000-1 587

H-0002

0141

追加豫算ニハ學資補給金四十萬圓ヲ計上シ置キ（外ニ第一豫備金申
ニ學資補給ノ不足ノ場合ニ備フル爲金十萬圓ヲ計上シ置クコト）學
資不足ノ留學生ニ對シ給與スルコト

尤モ右補給ニ付テハ豫メ支那官憲ト協定ヲナシ補給ヲ受クヘキ者ノ
選定及補給額等ニ付キテハ同官憲ニ於テ當方ト協議ノ上之ヲ決定セ
シムルコトトシ其上ニテ隨時所要額ヲ同官憲ニ交付シ其ノ手ヲ以テ
之ヲ支給セシムルコト

尙學費修得ノ見込ナキ者ハ旅費ヲ給シテ歸國セシムルコト



8000-1

588

H-0002

0142

秘

對支文化事業調査綱領

(一) 對支文化事業ニ關スル諸般ノ事務ヲ掌理スル爲外務省ニ對支文化事業事務局長ヲ置キ亞細亞局長ヲ局長トナシ專任事務官四人(内一名ハ文部省出身ノ者ヲ採用スルコト可然) 十二人ヲ以テ之ヲ組織シ尙特種ノ智識經驗ヲ有スルモノヲ傭託(有給)トナシ其ノ人員ヲ八名トスルコト

(二) 對支文化事業ノ調査研究及意思疎通等ノ爲外務省ニ對支文化事業調査委員會ヲ設ケ大臣ヲ委員長トシ左ノ諸員ニ委員ヲ傭託スルコト

589

S 8000-1

2

外務省
外務次官 亞細亞局長 通商局長 情報部次長

大藏省
理財局長 主計局長

文部省
普通學務局長 専門學務局長 實業學務局長

内務省
警保局長 衛生局長

外ニ學者及實業家數名

尙外務。大藏、文部及内務各省一名宛ノ幹事ヲ傭託スルコト

其他他省關係課長等ハ必ズニ應シ普通ノ傭託トシ事務ノ連絡ヲ圖ル

コト

以上諸員(外務省ノモノヲ除ク)ニ對シテハ年額百圓乃至五百圓位

590

S 8000-1

H-0002

0143

ノ手當ヲナスコト

三 大正十二年度ニ於テハ以下述フルカ如ク事業ノ範圍ヲ制限シ他而前記諸員並臨時囑託ヲシテ諸般ノ調査ヲ行ハシメ以テ大正十三年度以降ニ對スル方針ヲ研察確立スルコト

四 在本邦支那留學生ニ對スル學費補給ノ爲大正十二年度豫算ニハ金五十萬圓ヲ計上シ置キ學費不足ノ者ニ對シ一ヶ月四十圓ヲ超過セサル額ヲ以テ適宜之ヲ給與スルコト尤モ右ハ從來ノ官費留學生ニ限ルコト(支那政府官費留學生制度ハ本年三月限りニテ廢止サルル等ナリ)尙學業修得ノ見込ナキ者ハ旅費ヲ給シテ歸國セシムルコト
補給學費ハ一應之ヲ支那官費ニ交付シ其ノ手ヲ以テ之ヲ支給スルコト

S 8000-1

591

五 東亞同文會、同仁會等ヨリハ義ニ補助ノ申請アリタルカ右ハ豫算

査定ノ際既ニ審議ヲ了シ削減ヲ加ヘタル上之ヲ一審會計ノ豫算ニ計上シアルヲ以テ本特別會計ニ歸スル大正十二年度追加豫算要求ノ場合ニ更ニ之ヲ計上スルコト法規上許ササルヲ以テ何等要求セサルコト

東亞高等豫備學校ヨリモ本特別會計ヨリノ補助申請アリト雖前記東亞同文會其他ノ關係モアリ大正十二年度追加豫算ニハ之等諸學校ニ對スル補助ハ一切要求セサルコト

六 青島中學校、高等女學校及小學校並青島病院ハ山東總案細目協定第七條乙ニ居留民團體ノ爲メ必要ナルモノトシテ日本政府ニ於テ保有スヘキ財産トシテ列記シアルモノナルヲ以テ右管理經營ハ同地居留

S 8000-1

592

H-0002

0144

民團組織ノ上之ヲシテ當ラシムルコト至當ナルヘク政府ハ之等ヲ民團ニ讓渡スルモ可ナリト雖將來ニ對スル方針決定スル迄暫クハ其ノ管理經營ヲ同團ニ委託スルニ止メ置クコト然ルヘシ

(七)青島中學校、高等女學校及小學校ノ經費ハ從來ノ經驗ニヨレハ少クモ年額金二十萬圓ヲ要シタルモ小學校經費ノ一部ハ當然居留民團ニ於テ負擔スヘキモノナキヲ以テ以上三校ニ對シ總額金十二萬圓ノ補助ヲ與フルコト尤モ右補助額ニ付テハ山東地方ノ寧靜安定ヲ見ルニ非サレハ確定シ難キニ付大正十二年度追加豫算ニハ同年一年分ノミヲ要求スルコト

青島病院ノ經費ハ從來約二十萬圓ヲ要シタルモ今後ハ事業ノ繁榮ヲ圖ラシムルコトトシ大正十二年度ニ於テ金十五萬圓ノ補助ヲ與フル

コト

(八)濟南病院ハ將來ニ對スル方針決定スル迄當分之力經營ヲ同地民團ニ委託スルコト

同病院ノ經費ハ從來約二十萬圓ヲ要シタルモ青島病院同様大正十二年度ニ於テハ金十五萬圓ヲ同民團ニ補助スルコト

(九)天災地變等ノ際罹災民救恤ノ必要生スルヤモ計リ難キニ付大正十二年度追加豫算ニハ第二豫備金トシテ金五十萬圓ヲ要求スルコト

(十)本特別會計ノ歳入中國匯賠償金ノ支拂ハ比較的確實ナリト雖山東組目協定ニ依ル國庫證券ノ利子支拂ハ遲滯スルヤモ圖リ難シ(元本ハ當分償還不可能ト見ルヲ安全トス)斯クノ如ク稍不安ナル基礎ノ收入ニヨリ事業ヲ經營セントスル次第ナルヲ以テ當分ハ毎年ノ使用額



8000-1

594



8000-1

593

H-0002

0145

ヲ節約シ可成速カニ相當ノ基金ヲ積立ツルノ方針ヲ採ルコト

(四) 日華實業協會ノ計畫ニ係ル青島大學ハ山東細目協定ノ特異宏大ナル
校舎ヲ無償ニテ借入ルルコトトナリ且政府ニテハ其經營ニ村廳
念シタルニ拘ハラス同協會側ニテハ獨力ニテ立派ニ之ヲ經營スヘキ
旨ヲ飽ク迄主張シタル行縣モアリ幸々同計畫ニ對シテハ將來ト雖
對ニ補助ヲ與ヘサルコト



8000-1

595

H-0002

0146

秘

對支文化事業實施綱領

對支文化事業

(一) 對支文化事業ニ關スル諸般ノ學程ヲ掌理スル爲外務省ニ對支文化事業事務司ヲ置キ亞細亞局長ヲ局長トナシ專任事務官四人(内一名ハ文部省歸ノ者ヲ採用スルコト可然) 十二人ヲ以テ之ヲ組織シ尙特種ノ智識經驗ヲ有スルモノヲ囑託(右給)トナシ其ノ人員ヲ八名トスルコト

(二) 對支文化事業ノ調査研究及意思疏通等ノ爲外務省ニ對支文化事業調査委員會ヲ設ケ大臣ヲ委員長トシ左ノ諸員ニ委員ヲ囑託スルコト

外務省 外務次官 亞細亞局長 通商局長 情報課次長

大藏省 理財局長 主計局長

文部省 普通學務局長 專門學務局長 實業學務局長

內務省 警保局長 衛生局長

外ニ學者及實業家數名

尙外務。大藏、文部及內務各省一名宛ノ幹事ヲ囑託スルコト

其他他省關係課長等ハ必ズニ應シ普通ノ囑託トシ事務ノ連絡ヲ圖ル

コト

以上諸員(外務省ノモノヲ除ク)ニ對シテハ年額百圓乃至五百圓位

S

8000-1

597

S

8000-1.

596

H-0002

0147

ノ手當ヲナスコト

三 大正十二年度ニ於テハ以下述フルカ如ク事業ノ範圍ヲ制限シ他面
記諸員並臨時囑託ヲシテ諸般ノ調査ヲ行ハシメ以テ大正十三年度以
降ニ對スル方針ヲ研究確立スルコト

四 在本邦支那留學生ニ對スル學費補給ノ爲大正十二年度豫算ニハ金五
十萬圓ヲ計上シ置キ學費不足ノ者ニ對シ一ヶ月四十圓ヲ超過セサル
額ヲ以テ適宜之ヲ給與スルコト尤モ右ハ從來ノ官費留學生ニ限ルコ
ト(支那政府官費留學生制度ハ本年三月限りニテ廢止サルル等ナリ)
尙學業修得ノ見込ナキ者ハ旅費ヲ給シテ帰國セシムルコト
補給學費ハ一應之ヲ支那官憲ニ交付シ其ノ手ヲ以テ之ヲ支給スルコ
ト

S 8000-1 598

如東亞同文會、同仁會等ヨリハ義ニ補助ノ申請アリタルカ右ハ豫算
査定ノ際既ニ審議ヲ了シ削減ヲ加ヘタル上之ヲ一般會計ノ豫算ニ計
上シアルヲ以テ本特別會計ニ屬スル大正十二年度追加豫算ニ對シ
合ニ更ニ之ヲ計上スルコト法規上許ササルヲ以テ何等要求セサルコ
ト

東亞高等豫備學校ヨリモ本特別會計ヨリノ補助申請アリト雖前記東
亞同文會其他ノ關係モアリ大正十二年度追加豫算ニハ之等諸學校ニ
對スル補助ハ一切要求セサルコト

六 青島中學校、高等女學校及小學校並青島病院ハ山東憲案細目第六條
七條乙ニ居留民間職ノ爲メ必要ナルモノトシテ日本政府ニ於テ保有
スヘキ財産トシテ列記シアルモノナルヲ以テ右管理經營ハ同地居留

S 8000-1 599

H-0002

0148

民國組織ノ上之ヲシテ當ラシムルコト至當ナルヘク政府ハ之等ヲ民間ニ讓渡スルモ可ナリト雖將來ニ對スル方針決定スル迄暫クハ其ノ管理經營ヲ同團ニ委託スルニ止メ置クコト然ルヘシ

(由)青島中學校、高等女學校及小學校ノ經費ハ從來ノ經驗ニヨレハ少クモ年額金二十萬圓ヲ要シタルモ小學校經費ノ一部ハ當然居留民間ニ於テ負擔スヘキモノナルヲ以テ以上三校ニ對シ總額金十二萬圓ノ補助ヲ與フルコト尤モ右補助額ニ付テハ山東地方ノ事態安定ヲ見ルニ非サレハ確定シ難キニ付大正十二年度追加豫算ニハ同年一年分ノミヲ要求スルコト

青島病院ノ經費ハ從來約二十萬圓ヲ要シタルモ今後ハ事業ノ緊縮ヲ圖ラシムルコトトシ大正十二年度ニ於テ金十五萬圓ノ補助ヲ與フル

4
コト

(八)濟南病院ハ將來ニ對スル方針決定スル迄當分ノカ經營ヲ同地民會ニ委託スルコト

同病院ノ經費ハ從來約二十萬圓ヲ要シタルモ青島病院同様大正十二年度ニ於テハ金十五萬圓ヲ同民會ニ補助スルコト

(九)天災地變等ノ際罹災民救恤ノ必要生スルヤモ計リ難キニ付大正十二年度追加豫算ニハ第二豫備金トシテ金五十萬圓ヲ要求スルコト

(十)本特別會計ノ歲入中國匯賠償金ノ支拂ハ比較的確實ナリト雖山東細目協定ニ依ル國庫證券ノ利子支拂ハ遲滯スルヤモ圖リ難シ(元本ハ當分償還不可能ト見ルヲ安全トス)斯クノ如ク稍不安ナル基礎ノ收入ニヨリ事業ヲ經營セントスル次第ナルヲ以テ當分ハ毎年ノ使用額

6

S 8000-1

601

5

5

S 8000-1

600

H-0002

0149

ヲ節約シ可成速カニ相當ノ基金ヲ積立ツルノ方針ヲ採ルコト

(四) 日華實業協會ノ計畫ニ係ル青島大學ハ山東細目協定ノ結果宏大ナル
校舎ヲ無償ニテ借入ルルコトトナリ居リ且政府ニテハ其經營ニ付懸
念シタルニ拘ハラス同協會側ニテハ獨力ニテ立派ニ之ヲ經營スヘキ
旨ヲ飽ク迄主張シタル行憲モアリ幸々同計畫ニ對シテハ將來ト雖
對ニ補助ヲ與ヘサルコト



8000-1

602

H-0002



第三系
秘

大蔵省提出の場合に補充費計算ノ基礎ニ一層詳細ナルヲ必要ト認ム
對支文化事業特別會計歳入歳出

科 目	金額
支那債還金収入	三、五三三、四九七
支那債還金収入	三、五三三、四九七
債 還 金	八、二〇、一〇六
利子収入	二、六六三、三三一
繰 上 金	八、六八、三〇九
繰 上 金	八、六八、三〇九
繰 上 金	八、六八、三〇九
歳入合計	四、四〇〇、〇〇〇

歳

歳

科 目	金額
對支文化事業事務費	二、三三三、九二五
俸 給	二、六八、〇〇〇
俸 給	一、二八、〇〇〇
判 任 俸 給	一、二八、〇〇〇
事 務 費	一、九一、一〇五
備 品 費	三、五八、〇〇〇
消 耗 品 費	二、九二、〇〇〇
圖書及印刷費	一、〇〇、〇〇〇
筆紙墨文具	三、六〇、〇〇〇
通信運搬費	一、五〇、〇〇〇
電信料	二、〇〇、〇〇〇
内國旅費	四、〇〇、〇〇〇



8000-1-

604



8000-1

603

H-0002



諸支出金	諸支出金	第一豫備金	第二豫備金	豫備金	雜補給	學費補助	諸補給	諸補給	青島其他病院費補助	青島病院補助	濟南病院補助	青島諸學校費補助	青島諸學校費補助	補助費	初度調辨費	雜費	觀音者樓過費	樓修費	調查費	被服費	備人料	雇員給	給興	外國旅費
四〇〇〇	四〇〇〇	八〇〇〇	五〇〇〇	五八〇〇	一八〇〇	四九一〇	五〇九〇	五〇九〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	四〇〇〇	二四六九	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	三〇〇〇	六〇〇	九〇〇	三六〇	四六〇	一五〇〇

S 8000-1 606

S 8000-1 605

H-0002

0152

2

歳出合計	死亡手当	死傷手当	官更療治料	死亡賜金	退官賜金
一、四、六、九、五	一、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

S 8000-1 607

H-0002

0153

歳入金内詳

科 目	金額	摘 要
支那償還金収入	六五三、四九七	
支那償還金収入	三五三、四九七	
償 還 金	八七〇、一七六	大正十一年度支領之十圓賠償金元令
利子収入	一七六、三三一	大正十一年度支領之十圓賠償金元令 大正十一年度支領之十圓賠償金元令 大正十一年度支領之十圓賠償金元令
繰入金	八六八、三〇九	
繰入金	八六八、三〇九	
繰入合計	四四〇、七〇六	



8000-1 608

H-0002

0154

対支文化事業事務白費内訳

科目	金額	備考
対支文化事業事務 白費	三三、七二五	
俸給	二四、八〇〇	
主任俸給	一六、八〇〇	事務管四人平均月額 三二、〇〇〇、割
主任俸給	一、〇〇〇	事務管一人平均月額 一、〇〇〇、割 内一人「扶子」
事務費	二、九二五	
普通庶費	八八〇	
備品費	八八〇	十八人平均月額 五五、割
器具	八八〇	
消耗品	八八〇	
薪炭油類	八八〇	
(特別費)		
備品費	二七、〇〇〇	
鉋器械	二四、〇〇〇	自動車修繕費月二、〇〇〇、見積
鉋品費	三、〇〇〇	月二、〇〇〇、見積
圖書及印刷費	七、〇〇〇	
圖書購買費	二五、〇〇〇	見積
報章書料	二五、〇〇〇	
雜誌類	五、〇〇〇	
製本費	二五、〇〇〇	
印刷費	二五、〇〇〇	
筆鐵筆文具	六、〇〇〇	
用紙	三、〇〇〇	月二、〇〇〇、見積
諸帳簿	二、〇〇〇	見積
筆墨印肉類	二、〇〇〇	
砚道具類	二、〇〇〇	

S 8000-1 610

S 8000-1 609

H-0002

0155

消耗品	六〇〇	
瓦斯電燈	六〇	月五〇日見積
雑用品	一四四	自動車用ガソリン代等月一〇日見積
通信運搬費	一五〇	
郵便料	六〇	月五〇日見積
電報機使料	三〇	見積
運搬費	六〇	月五〇日見積
電信料	二〇	見積
内國旅費	四〇	
外國旅費	一五〇	
給食	二四〇	
嘱託手當	二三四	嘱託六名(一人平均三〇日 三〇〇日 一七四〇日) 嘱託手當及調査手當等 每人平均 一人三〇日割
贈與	二〇	見積
慰勞金	一〇	諸個人特別勉勵者、慰勞金見積
雇員給	三六〇	雇員十六名一人平均年額三〇日割
備人料	九〇	
紙	八四	七人一人平均年額一〇日割
小使	一〇	一人一人割
寫字生	一八〇	六名一人平均年額三〇日割
自動車運轉	一六八	一人平均年額九六〇日 一人平均年額七二〇日 一人平均年額一六八〇日
印刷職工	二七〇	十人一人平均年額二七〇日割
製本職工	八一	三人一人割
被服費	六〇	給仕七名(一人平均二五〇日割) 小使七名(一人平均一〇〇日割) 自動車運轉手當一人平均年一八〇日割
調査費	三五	調査嘱託費及手當等
接待費	一〇	懇談會費及視察費補助



8000-1

612



8000-1 611

H-0002

0156

視察者優遇費
（一般に賞与あり）
雑費
初級調解費

三〇、〇〇〇
三五、〇〇〇
二四、五九〇

飲食衛生費、旅費、視察者に対する優遇費、旅費、補助金
高学料 八、〇〇〇
船賃、旅費 一、〇〇〇
内訳別紙あり

S 8000-1 613

H-0002

0157

調査費内訳

金 参 萬 五 千 五 百 円

丙

金 六 千 貳 百 円

金 志 萬 七 千 八 百 円

政米於ケル支那苗字生状況調査委託手当勅任格ノ者一名政米滞在約二月、見込滞在費一日六拾
円宛トシ三千六百円往後旅費二千八百円ノ見積
支那ニ於ケル教育、學藝、衛生、救恤等ニ關スル状況調査委託手当勅任格ノ入茶任格二人判任格四人
(四理ニ分テ滞在約二月宛、手当ニ滞在費勅任格入二千二百円茶任格入千五百円判任格一人千円往後旅
費ノ平均八百円宛ノ見込)

金 四 千 円

金 参 千 円

金 千 五 百 円

金 参 千 円

教育、學藝、衛生、救恤等ニ關スル指導、監督ノ方法ヲ支那ノ事情ニ適スル専門家ニ囑託シ
調査セシメタル報酬一人千円宛ノ割ニテ四分
本省ノ支員又ハ囑託者等由張先ニ於テ或ル事項又ハ通訳等ヲ囑託シケルモノニ對スル謝礼及報
酬等係計六拾件ト見積一件平均五拾円ノ割
全上ノ場合調査上便宜ヲ與ヘラレタル政米人又ハ支那人等ニ對スル謝礼ノ意味ニ於ケル贈品代統
計十件ト見積一件ニ付百五拾円ノ割
在外公館ヲ介シテ本件ニ關スル或ル事項ノ調査ヲ依頼シタル者ニ對スル手當金係計統
拾件ト見積一件ニ付百円ノ割



8000-1

614

H-0002



補助費内訳	
科目	金額
補助費	四二〇〇〇
青島諸学校費補助	一三〇〇〇
青島諸学校費補助	一三〇〇〇
青島其他病院費補助	三〇〇〇〇
青島病院補助	一五〇〇〇
濟南病院補助	一五〇〇〇

青島中學校費補助
青島女子學校費補助
青島十學校費補助

四二〇〇〇
一三〇〇〇
一三〇〇〇
三〇〇〇〇
一五〇〇〇
一五〇〇〇

S 8000-1

615

6

H-0002

0159

請補給内譯

科	目	頁
諸補給	給	五〇九
諸補給	給	五〇九
學資補給	給	四九一
雜補給	給	一八〇

留學生學費及旅費補給類 入邦前年四月十日迄 四八〇
 新法未留學生學用品料補給 自三十分天平均在內 割 一〇〇
 留學生中死者又 臨死等 者 遺骸公葬送故郷等
 留學生 遺骸 諸會費補給
 留學生 遺骸 諸會費補給
 送進會費補給
 送進會費補給
 其他 諸國 作 補給



8000-1

616

H-0002



初度調辨費内譯

名	称	数量	単	價	小
大	机 英任官用	4	1	5	4
回	轉椅子	4	4	5	1
小	机 別任官用 馬車用	4	5	5	1
椅	子	4	5	5	1
机	子 結任用	2	5	5	1
小	椅子	2	5	5	1
帽	子 機	2	5	5	1
步	障	6	5	5	3
产	欄	1	5	5	1
算	筭	1	5	5	1
小	卓子	2	5	5	4
椅	子 未官用	1	4	5	4
左	椅子 雜用	2	5	5	4
大	卓子 層紙用	4	5	5	4
椅	子	2	4	5	9
タイ	ライター 印文	2	8	5	1
左	改文	2	5	5	5
印	箱 右人用	2	5	5	1
呼	鈴	6	5	5	6
電	話	6	5	5	6
時	計	4	5	5	2
ス	トール	4	5	5	6
自	動車	1	5	5	1
庫	車	1	5	5	1
計					



8000-1

618



8000-1

617

H-0002

0151

秘

科

對文化事業特別會計歲出

科目金額

學術獎勵費 一五四、〇二〇

交換教授費 七〇、〇二〇

旅費 二八、〇二〇

手当 四二、〇〇〇

學費視察費 八四、〇〇〇

當 八四、〇〇〇

本邦初任教授滞在三月旅遣旅費一人平均五六、四円、割
 支那初任教授滞在三月旅遣旅費一人平均八四、〇円、割
 相互學生各參拾人宛六十八滞在二月間視察手当一人平均四三、四円、割
 (往復旅費五、〇円、割)



8000-1

619

H-0002

0162

初任入東京北京間往復及支那内地旅行費用概算調

支度料	往	分	合計
七、〇	船車料	日當及船邊支那内地船	合計
一三五、四二	日當	九十日分	五、〇
七、七	宿泊料	支那内地船	五、一九
一一八、三三	合計	合計	八四
三三、四二	返路分	合計	所要額
三、〇	九十日分	合計	
三、三三	合計		

右ニ對スル從者一人分

往路船車料	返路同上	支那内地船	合計
五六、五七	五六、五七	三、〇	四一、三四
合計	合計	合計	合計
合計	合計	合計	合計

合計五千六百參円九十八銭

摘要

片道旅行日数及夜数ヲ七日トス

内譯

内地二日 朝鮮二日 滿洲一日 支那二日

寢甚料ニ包含セズ



8000-1

620

H-0002

0153

秘

大正十二年度補助申請額（豫算ニ計上セラレタルモノヲ省ク）

東亞同文會事業費補助	四〇四、三五九
天津同文中學校增築 及設備費補助	二二四、四九七
漢口同文中學校增築 及設備費補助	一四一、七二六
天津及漢口兩學校經 常費補助追加	三八、一三六
同仁會事業費補助	三五〇、〇〇〇
北京病院擴張費補助	一〇〇、〇〇〇
上海病院擴張費補助	二〇〇、〇〇〇
漢口病院經常費補助	五〇、〇〇〇

S 8000-1 621

東亞高等豫備學校事業費補助	一八五、〇〇〇 圓
校舎校地買入費補助	一五〇、〇〇〇
經常費補助	三五〇、〇〇〇

S 8000-1 622

H-0002

0154

極秘
寫

大正十二年二月二十八日

大臣

次官

亞細亞局長

第一課長

第二課長

大臣官房會計課長

大藏大臣

次官

主計局長

豫算課長

調査課長

理財局長

國庫課長

大臣官房會計課長

手紙

(E 號用紙)

外務省

S

8000-1

624

H-0002

0155

(已號用紙)

青島居留民國貸付金及公有財產補償金處ニ關スル件

一、舊膠州租借地内及山東鐵道沿線ニ在在スル帝國臣民ノ經濟的地
 步補償ニ對スル爲帝國政府ヨリ青島居留民國ニ對シ金參百萬圓ヲ
 年別五分ニテ拾年間貸付クルコト

一、本貸付金支出ノ爲外務大臣ヨリ「青島居留民國貸付金」トシテ大
 正十二年度追加豫算ヲ要求スルコト

一、外務大臣ハ本貸付金ノ目的ヲ有效ニ達成シ且其償還ヲ確保ナラシ
 ムル爲適當ナル條件ヲ定メ之ニ其キ在青島帝國總領事ヲシテ本貸
 付金運用ニ關スル居留ノ事務ヲ監督セシムルコト

外務省

S 8000-1 625

(已號用紙)

一、山東懸案細目協定第十八條乃至第二十條ニ據リ支那政府ヨリ帝國
 政府ニ支拂フヘキ補償額中國庫證券千四百萬圓ヨリ製鹽業者ニ對
 スル補償額ヲ控除セル殘額(國庫證券償還ノ場合ニハ該償還金)
 ハ本貸付金償還ノ場合ニ又現金二百萬圓ハ將來適當ノ時機ニ至リ
 對支文化事業特別會計ニ歸屬セシムルコト

一、本貸付金ヲ以テ舊膠州租借地及山東鐵道沿線ニ在在スル帝國臣民
 ニ對スル救濟的措置ヲ打テルコト

外務省

S 8000-1 626

H-0002

0157

第四卷



對文化事業特別會計歲入歳出

對文化事業特別會計歳入歳出

科	目	歳入
支那償還金收入		三、七三、四九七
支那償還金收入		三、七三、四九七
償還金		八、七、一七六
利子收入		一、八六、三三一
繰入金		一、八六、三二九
繰入金		一、八六、三二九
繰入金		一、八六、三二九
歳入合計		六、六〇、七〇六

科	目	歳入
一 對文化事業事務費		一、五八、三三五
對文化事業事務費		一、五八、三三五
事務費		一、二八、〇〇〇
担任俸給		一、〇〇、〇〇〇
事務費		一、三三、三五五
二 交付金及補給金		三、一八、〇〇〇
交付金及補給金		三、一八、〇〇〇
給金		三、〇〇、〇〇〇
交付金		一、〇〇、〇〇〇
講演及視察費		一、五八、三三四
文藝講演費		六、〇〇、〇〇〇
旅費		二、〇〇、〇〇〇

S 8000-1 628

S 8000-1 627

H-0002

0168

科 目		金額	
手當	三〇〇〇	歳出合計	一七九六
視察費	九〇〇	第一豫備金	二〇〇〇
奨励金	八〇〇	第二豫備金	五〇〇
雑費	五〇〇	大豫備費	七〇〇
補助費	四二〇	死七手當	一〇〇
青島諸學費	一〇〇	死傷手當	五〇
樹助	一〇〇	官吏療治料	五〇
青島諸学費	一〇〇	諸支出金	四〇〇
青島諸学費	一〇〇	退官賜金	一〇〇
青島其他療費	三〇〇	五諸支出金	四〇〇
青島病祝	一五〇	諸支出金	四〇〇
青島病祝	一五〇	諸支出金	四〇〇
濟南病祝補	一五〇	諸支出金	四〇〇

S 8000-1 630

S 8000-1 629

H-0002

0169

歳入金内訳

科目 金額

摘要

支那償還金収入 三七三、四九七

支那償還金収入 三七三、四九七

償還金 八七、一七六

利子収入 二八六、三三一

繰入金 二八六、二〇九

繰入金 二八六、二〇九

繰入金 二八六、二〇九

歳入合計 六〇七、〇一六

大正十年度受領ノ國庫貯蓄金元金

八七、一七六

大正十年度及十一年度國庫貯蓄金利息

一、七三三

大正十年度後受領ノ東洋貯蓄銀行元金

二、八六三

國庫貯蓄金ニシテ大正十年度三月迄受領シ

八六八、二〇九

一般會計收入シテ本會計ノ繰入金トシテ

二、〇一六

山東飛龍餅次ノ貸付金ニ付テ五元及四元

協賛券八枚ニ依リ交付シテ現金ニシテ大正十

年度一般會計收入トシタルモノ本會計繰入金トシテ



8000-1

631

(2)

H-0002



對支文化事業事務局賞内譯

科 目 金 額

對支文化事業事務局賞	一五、八〇、三五	
對支文化事業事務局賞	一五、八〇、三五	
對支文化事業事務局賞	一五、八〇、三五	
券任俸給	一、二八、〇〇	事務官四人分一平均年額三、二〇〇、円ノ割
判任俸給	一、二〇、〇〇	判任官十二人分一平均年額一、〇〇〇、円ノ割 内一人ノ技手
事務費	三、三三、三五	
(普通雇費)		
備品費	八八、〇〇	器具十六人分一平均年額五、五〇〇、円ノ割
消耗品	八八、〇〇	薪炭油類前同前
(特別雇費)		
備品費	三、〇〇	雜品費月三五円ノ見積
圖書及印刷費	七、〇〇	圖書購買費二、五〇〇、円 報告書新聞雜誌類一五〇〇、円 製本費 五〇〇、円 印刷費 一五〇〇、円

科 目 金 額

筆墨文具	三六、〇〇	用紙 三、〇〇〇、円 諸帳簿 二、〇〇〇、円 筆墨印油類 二、〇〇〇、円 硯道具類 二、〇〇〇、円
消耗品	六、〇〇	瓦斯電燈
通信運搬費	一五、〇〇	郵便料 一、〇〇〇、円 電話機使用料 三、〇〇〇、円 運搬費 六、〇〇〇、円
内國旅費	四、〇〇	見積
外國旅費	一五、〇〇	
給與	二四、六〇	嘱託手当一七、四〇、円 嘱託人八人分 (一人ノ年額三、〇〇〇、円 三人ノ年額一、八〇〇、円 一人ノ年額一、八〇〇、円) 七、二〇〇、円 調査委員及調査會幹事十人分年當 六、〇〇〇、円 一八、三〇〇、円ノ割
贈與	二、〇〇	
慰勞金	一、〇〇	
雇員給	三六、〇〇	雇員十二人分一平均年額三、〇〇〇、円ノ割
備人料	七、三五	給仕七人分一平均年額二、〇〇〇、円ノ割 出金八、四〇〇、円 使入分一平均年額二、〇〇〇、円 字遣五十分金共計三、六〇〇、円ノ割 出金一、八〇〇、円 印刷費十人分一平均年額三、〇〇〇、円ノ割 察本職三十八人分一平均年額三、〇〇〇、円ノ割 出金一、一四〇、円
被服費	二、三五	給仕七人分一平均二、五〇〇、円ノ割 一七、五〇、円 小使五人分一平均一、二〇〇、円ノ割 六、〇〇、円



8000-1

633



8000-1

632

H-0002

0171

初度調査費	雑費	接待費	調査費
二四六九	三五〇	一〇〇〇	三五五〇
内訳は八通	母身料八〇〇円 母身馬類倉庫一〇〇〇円 雑費一〇〇〇円	調査場託報酬及手当等	調査場外視察費補助

S 8000-1 634

(5)

H-0002

0172

調査費内訳

金参萬五千五百圓

内

金六千貳百圓

金貳萬七千八百圓

- 金四千圓
- 金参千圓
- 金千五百圓
- 金参千圓

改米於此支那留學生状況調査費中當初任務一名改米滞在約二月見込
滞在費一千六百圓見込三月六日往復旅費二千八百圓見込
支那於此教育學藝衛生救恤等機關状況調査費中當初任務三名於此任務二名
別任務一人(留學生等)滞在約二月見込旅費一千二百圓見込於此任務一人
千五百圓別任務一人自往復旅費八百圓見込

教育學藝衛生救恤等機關指導監督方法支那事情通關事務調査費
此調査費七千圓報則一人千四百圓見込四人分
本調査費中當初任務三名於此任務二名通過等ヲ當記シタルノ對シテ
及報酬等對本指件見込一件平均五百圓見込
以上總合調査上便宜ヲ供シタル改米人又ハ支那人等對シテ謝礼ノ意味ニ於テ
贈品代送等十件見込一件千五百圓見込
在外公館ヲ於テ本指件見込或ハ事務調査ヲ依テシタル者對シテ手當金送附
指件見込一件千五百圓見込

S 8000-1 635

H-0002

0173

金 計	下 一	時 計	電 話	呼 鈴	印 箱 各人用	△ 政支	△ 邦文	椅子 子	大 卓 子 會議用	△ 雜用	椅子 子 未客用
一	四	四	六	六	三	二	三	二	四	二	一
一	五	二	四	一	二	二	二	一	四	二	四
一	五	二	四	一	五	五	五	五	五	五	五
一	四	六	二	一	五	八	九	四	四	四	四
一	六	八	四	六	五	五	五	五	五	五	五
一	六	九									

S 8000-1 637

小 卓 子	箏 筒	戸 棚	步 障	帽 子 襖	小 椅 子	机 子 給仕用	椅子 子	小 机 判狂囃託屋 算字生用	面 轉 椅子	大 机 茶任官用	名 初度調辦費内譯
二	一	一	一	一	七	七	四	四	四	四	量
二	七	五	五	四	一	二	二	五	四	五	單
二	七	五	五	四	一	二	二	五	四	五	價
一	一	三	四	一	一	一	二	一	一	六	小
四	七	五	三	四	一	一	一	二	一	六	計
四	七	五	三	四	一	一	一	二	一	六	
四	七	五	三	四	一	一	一	二	一	六	

S 8000-1 636

H-0002

0174

交付金及補助金内訳

科目	金額
交付金及補助金	三二八、〇〇〇
交付金	三二八、〇〇〇
補助金	一八、〇〇〇

当年度学費及旅費交付金一人平均年三〇、〇〇〇トシテ八人

当年度中其否又、病氣等、有レ上場合併送致療養費用

当年度中其否又、病氣等、有レ上場合併送致療養費用

当年度中其否又、病氣等、有レ上場合併送致療養費用

一〇、〇〇〇
一〇、〇〇〇
一〇、〇〇〇
一〇、〇〇〇
一〇、〇〇〇
一〇、〇〇〇
一〇、〇〇〇
一〇、〇〇〇



8000-1

638

H-0002

0175

講演及視察
費用内訳

科目	金額
講演及視察	一五六.四〇
交換講演費	六六.四〇
振替	二八.〇〇
手當	三八.〇〇
視察費	九〇.〇〇
奨励金	八五.〇〇
雑費	五.〇〇

本邦側講師の滞在費は三月派遣旅費一人平均五六〇.四〇、割

支那側講師の滞在費は三月派遣旅費一人平均五六〇.四〇、割

又、視察費は、視察者一人平均二〇〇.〇〇、割

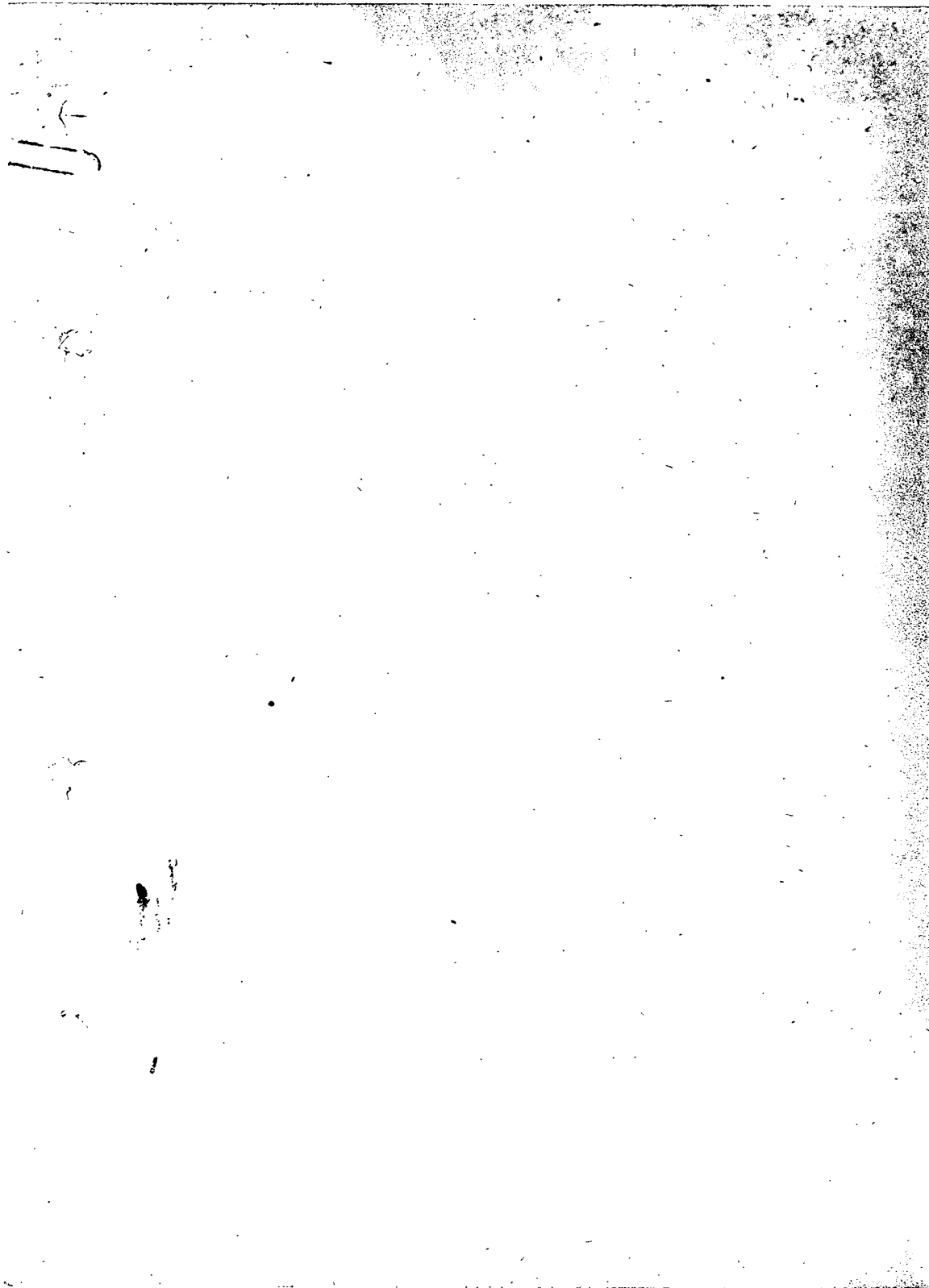
見取

S 8000-1

639

H-0002

0175



補助費内訳

科目

補助費

青島諸学校投資補助	四〇〇〇〇〇〇
青島諸学校投資補助	一〇〇〇〇〇〇
青島諸学校投資補助	一〇〇〇〇〇〇
青島其他病院投資補助	三〇〇〇〇〇〇
青島病院補助	一五〇〇〇〇〇
濟南病院補助	一五〇〇〇〇〇

青島中等学校投資補助
青島小学校投資補助

三〇〇〇〇〇〇
二七〇〇〇〇〇
五〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇



8000-1

640

H-0002



普通
受第 12.3.26

附屬書類添附

亞細亞局

2

第一課

文書部へ
日中白土部へ
送達済
宛先不明

12.3.26

H-0002

0178

寫

財団法人日華教育會事務所中務課一併

(乙號用紙)

本部有
文書課
京普九号

西物屋五郎五郎
加

大正十二年三月十七日

第三課長(印)

第一課長(印)

普通學務局長(印)

次官(印)

外務次官

公
信
案

外
務
省

(S) 8000-1 641

亞細亞局長

財団法人寄附行為中變更ノ件

指令案

財団法人 日華教育會

大正十二年二月二十日申請其ノ會案附行為中

變更ノ件認可ス

年月日

文部大臣

公
信
案

外
務
省

(S) 8000-1 642

(乙號用紙)

H-0002

0179

公 信 案

外 務 省

會 長 理 子 侯 爵 細 川 護 立 郎

財 團 法 人 日 華 總 子 會

大 正 十 三 年 二 月 二 十 日

致 候 也

ノ 決 議 ヲ 經 候 二 付 御 認 可 相 成 度 此 致 請 申

本 會 寄 附 行 爲 中 左 記 ノ 通 変 更 ノ 件 理 子 會

寄 附 行 爲 中 変 更 ノ 儀 二 付 申 請

(乙 號 用 紙)

S 8000-1 644

公 信 案

外 務 省

備 考

寄 附 行 爲 第 五 條 中 理 事 七 名 以 内 ヲ 理 事 十 名

以 内 之 変 更 ス ル モ ノ ナリ

(乙 號 用 紙)

S 8000-1 643

H-0002



公 信 案

外 務 省

大正十二年二月十七日開會
 理事會決議録
 一財團法人日華學會 寄附行為
 五條中ノ理事七名以内ノ理事十名以
 内ニ改ム
 理由 會務ノ發展上 理事増員ノ必要アリ
 ルヲ認メ 右ノ通変更セントス

(乙 號 用 紙)

S 8000-1 646

公 信 案

外 務 省

文部大臣鎌田榮吉ノ
 記
 寄附行為五條中ノ通変更
 ノ理事七名以内ノ理事十名以内ニ改ム

(乙 號 用 紙)

S 8000-1 645

H-0002



公 信 案																				

以上

常務理事 山井格太郎

山井格太郎

(乙 號用紙)

S

8000-1

648

公 信 案																				

出席者

出席理事全員異議ナシ

細川護立

内藤久寛

江口定條

藤瀬政次郎

白岩龍平

(乙 號用紙)

S

8000-1

647

H-0002

0182

支那文化事務局

支那文化事務局



(已 號 用 紙 五)

對支文化事務局主管事項

支那國ニ於テ行フヘキ教育、學藝、衛生、救恤其ノ他文化ノ助長ニ
關スル事業ニ關スル事項 十各圖ノ分表ト

帝國ニ在留スル支那國人民ニ對シテ行フヘキ前號ニ掲クル事業ト同
種ノ事業ニ關スル事項

帝國ニ於テ行フヘキ支那國ニ關スル學術研考ノ事業ニ關スル事項
對支文化事業ニ關スル經理事務(金錢ノ出納事務ヲ除ク)

國庫賠償金、山東關係國庫證券等ニ關スル事項ニシテ對支文化事業
特別會計ニ直接關係ノモノ

外 務 省

S 8000-1 649

(已 號 用 紙)

尙ホ左記ノ如キ事項ヲ含ムモノト解シ然ルヘシ

(一)文化事業ノ觀察ニ關スル事項

(二)社交機關、研究所、試驗場等ニ關スル事項

(三)支那留學生ノ行動(政治的運動ヲ除ク)ニ關スル事項

(四)傭聘教師ニ關スル事項

(五)各種ノ展覽會(博覽會及商品展覽會等ヲ除ク)ニ關スル事項

(六)天災、地震、凶災等ニ關スル事項但シ救災借款ヲ除ク

以上諸件ハ亞細亞局トノ關係モ勘カラサルニ付可成廻覽ニ附ス
ルコト

外 務 省

S 8000-1 650

H-0002

0183

(已、號用紙)

東亞同文會事情概要

設立 明治三十二年十一月

目的 日華兩國ノ文化ヲ發達セシメ兩國人士ノ交誼ヲ厚フシ

其福利ヲ増進スルヲ以テ目的トス

組織 當初ハ單ナル私設團體ナリシモ大正十一年二月二十一

日財團法人ノ認可ヲ受ク

現今ノ事業 左ノ通り(大正十一年度上半期事業報告ニ依ル)

一 上海同文書院ノ經營 在學生(修業三ケ年)

1、商務科 三五七名

2、中華學生部 四八名

二 同附屬圖書館ノ經營 藏書邦、漢、歐書ヲ合セ二四八二〇冊

外務省

S 8000-1 651

(已、號用紙)

三 天津同文書院經營 開校大正十年十二月十日

在學生 一四〇名

四 漢口同文書院ノ經營 開校大正十一年四月九日

在學生 一一九名

五 東京同文書院ノ經營 在學生 1、書院 六名

2、目白中學 七一九名

六 調査編輯部 調査書ヲ時々出版スル外雜誌「支那」ヲ

發刊ス尙本邦ニ於テ支那研究者ニ便スル

爲研究材料ノ設置ヲ爲ス

七 邊境通信 邊境各地ニ通信員ヲ派シ諸種ノ調査報告

ヲ爲サシメツツアリ現在ハ暹倫、寧河、

外務省

S 8000-1 652

H-0002

0184

(已 號用紙)

黄河ノ三方面ニ通信員ヲ派遣シ行レリ

資産ノ狀況 主ナルモノ左ノ通り

一 土地 一二八一七七圓

二 建物 七四六二〇〇圓

三 圖書 二六九一六圓

四 什器 八五一八七圓

政府補助金ノ狀況 別紙ノ通り

外務省



8000-1

653

H-0002

0185

S

8000-1

654

六十一年度超収支豫算

種 別	金 額	種 別	金 額
第一節 雑 入	一七九五三三〇〇	第一項 補助金	一七九五三三〇〇
第一項 補助金	一七九五三三〇〇	第二節 雑 持	四〇〇〇〇〇〇
第二項 雑 持	四〇〇〇〇〇〇	第三節 本 部 收 入	三六六〇六九
第三項 本部収入	三六六〇六九	第四節 學 校 收 入	三三九二九三五六
第四項 學校収入	三三九二九三五六	第一項 東亞文書院收入	三二〇三〇五至〇
第二項 天津同文書院收入	七四三六七三	補助金ヲ除キ其他ノ收入全部	
雑 入	一七九五三三〇〇	雑 持 金	三六六〇六九
補助金	一七九五三三〇〇	補助金ヲ除キ其他ノ收入全部	
雑持	四〇〇〇〇〇〇	雑持金	三六六〇六九
本部収入	三六六〇六九	雑持金ヲ除キ其他ノ收入全部	
學校収入	三三九二九三五六	補助金	三二〇三〇五至〇
東亞文書院	一五九六〇〇	補助金ヲ除キ其他ノ收入全部	
膠州文書院	一一六〇〇〇		
天津同文書院	二二八六五〇〇		
漢口同文書院	二二八六五〇〇		
特派通信費	六〇〇〇〇〇		
本館東京同文書院	三三〇〇〇〇		
東亞同文書院	五〇〇〇〇〇		

(已 帳 用 紙)

外 務 省

H-0002

0010



8000-1

655

第三項 漢口同文書院收入	一、五五一三四	補助金ヲ除キ其他ノ收入全部
第五款 滞在編纂部收入	五、六五五二〇	補助金ヲ除キ其他ノ收入全部
第一項 調査編纂部收入	五、六五五二〇	補助金ヲ除キ其他ノ收入全部
第六款 特派通信費收入	二、四九五〇〇	補助金ヲ除キ其他ノ收入全部
第一項 特派通信費收入	二、四九五〇〇	補助金ヲ除キ其他ノ收入全部
經常收入合計	五七〇、六三七四五	

(已 號 用 紙)

外 務 省

0187

H-0002

經常支出	
第一款 本部費	金額
第一項 本部費	三八、六六〇、六九
第二款 教育事業費	五〇、六八二、六五六
第一項 東亞同文書院費	四四一、二六五、五〇
第二項 天津同文書院費	三〇、七二三、三二二
第三項 漢口同文書院費	三四、八三七、八四
第三款 調査編纂部費	一六、六五五、二〇
第一項 調査編纂部費	一六、六五五、二〇
第四款 特派通信費	八、四九五、〇〇
第一項 特派通信費	八、四九五、〇〇

外務省

(已號用紙)



8000-1

657

經常支出合計	
	五七〇、六三七、四五

外務省

(已號用紙)



8000-1

656

H-0002



同仁會事情概要

設立 明治三十五年

目的 支那其他亞細亞諸國ニ醫學、藥學及其技術普及セシメ以テ彼我人民ノ健康ヲ保護シ病苦ヲ救済スルニアリ

組織 明治三十六年二月四日財團法人ノ認可ヲ受ク

現在ノ事業 主ナルモノ左ノ如シ

- 一 北京同仁會醫院 開院大正三年一月 最近(十年度)一ケ年度取扱患者三〇四六六名
- 二 漢口同仁會醫院 開院大正十一年九月
- 三 上海同仁會醫院 建築敷地トシテ約九千六百坪ヲ買收シタルモ建築工事ハ未タ着手ノ遲ヒニ至ラス

經理 政府補助金ノ外寄附金ヲ經營財源トスル外ニ各病院ノ收入金

(ちんぎん)

(已 號用紙)

8000-1 658



外務省

ヲ以テ維持費ニ充當ス
資產狀況 主ナルモノ左ノ如シ

- 一 土地 五五八、一四一圓
- 二 建物 八一四、七五七圓
- 三 器具機材 四七、〇〇〇圓
- 四 什器 四三、一九四

政府補助金求況別表ノ通

(已 號用紙)

8000-1 659



外務省

H-0002

0190

合 計	上海醫院費	漢口醫院經費補助	漢口醫院開院費	同本道排水工事	設計監督及旅費	土地買收費	醫院建設費	地均風園板費	諸
三五〇、六九三	一〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	五五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

外
務
省

(已
號
用
紙)

S

8000-1 662

H-0002

0192

(已 號用紙)

(大正十三年三月)

日露協會事情概要

設立 明治三十八年

目的 露國ノ學術及事情ノ研究ヲ獎勵シ專ラ日露兩國國民交誼ノ
増進ニ努ムルト共ニ其經濟的關係ノ發展ニ資ス

組織 單ナル私設團體

現在ノ事業 左ノ如シ

- 一 日露協會學校ノ經營 開校大正九年十月
修業年限三ケ年
現在學生數 一六一名
- 二 日露貿易調査部 大正四年協會内ニ設ケ時々調査ノ結果
ヲ會員ニ頒布ス
- 三 商品陳列館ノ經營 大正七年農商務省ノ委囑ヲ受ケ哈爾濱

外務省

S

8000-1 663

(已 號用紙)

ニ開設ス

↑政府補助金ノ状況 別紙ノ通り

最近ノ状況

別紙ノ通り

外務省

S

8000-1 664

H-0002

0193

修繕費	電燈料	雜具費	消耗品費	薪炭費	運搬費	通信費	舟車馬費	旅費	學業品費	體育費
二〇〇〇	五二〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一〇、九一六	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、九七〇	四、五〇〇	五、八四一	二、〇〇〇
				計	借入金利息	豫備費	雜費	交際費	集會費	保險料
				二一七、五五七	一四、五九〇	五、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	八〇〇	一、三五九

S

8000-1

666

外務省

(已號用紙)

被服費	食費	雜給費	俸給	衛生費	印刷費	圖書費	生徒手當			
一五、五五〇	二五、八八〇	五〇〇	八八、二五一	一、三〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	九、九〇〇			
				計	借入金利息	豫備費	雜費	交際費	集會費	保險料
				二一七、五五七	一四、五九〇	五、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	八〇〇	一、三五九

S

8000-1

665

外務省

(已號用紙)

日露協會學校經常費大正十二年度豫算

收入 一〇八、九〇〇圓

支出 二一七、五五七圓

差引不足 一〇八、六五七圓

學資金

内譯別記ノ通り

支出内譯

H-0002

0194

(已號用紙)

同仁會ニ對スル検査院控難及本省締明要旨

第一 證憑書類散逸シ諸帳簿ノ記載杜撰ナリ

第二 外初省ノ補助命令書ニ依レハ毎三ヶ月補助金受拂計算書ヲ提出スヘキモノナルニ其ノ提出完全ニ實行セラレス

答辯 右二點ノ完全ニ實行セラレサリシハ甚々遺憾トスル所ナル

モ當時ノ會計担当者ハ同會創立以來勤続シタル老人ニシテ只實直ナルヲ取得トシ會計上ノ智識經驗乏シカリシ結果ニシテ此間何等惡意等ヲ抱發セシ爲ニハアラス同仁會ハ變ニ本省ノ戒告ニヨリ不整地ニ陥ラシメタル責任上昨年五月該主任者ノ更迭ヲ行ヒ同時ニ既往ノ經費全部ニ對シ一般的ニ整理ヲ斷行セシト共ニ補助金受拂計算書モ全部調製ノ上本省へ提出シ證

外務省

8000-1

667



(已號用紙)

證書類ヲ集拾ニ努メ此ニ本省ヲ經由シテ會計検査院へ提出ヲ了セリ

第三 國庫補助金ト一般經費トヲ混淆使用セリ

答辯 國庫補助ニ係ル現金ヲ命令外ノ用途ナル一般經費ニ一時流用シタル額拾參萬貳千圓アリトシテ非難シ検査院ハ國庫補助金ノ使用方ニ關シ頗ル狹義ノ解釋ヲ下シ居ルモ本省ハ検査院ノ見ル所ト其解釋ヲ異ニスルモノニシテ資金ノ流用ハ同會財政運用上ノ問題ニシテ政府豫算ノ款項ノ流用ト異ナリ同會ノ如キ事業ニ於テハ一時ノ便法トシテ不得已處置ト云フヘク一般經費資金ノ充實ト共ニ國庫補助金ノ流用戻ヲ爲シ以テ補助命令ノ目的ニ使用セラルルニ於テハ敢テ咎ムヘキ事項ニ非ス

外務省

8000-1

668



H-0002

0195

(已 號用紙)

ト認ム

右問題ノ流用額ハ大正八年度ヨリ同十一年度ニ至ル四ヶ年ニ沙ル
延金額ニシテ今ヤ夫々流用戻ノ途ヲ講シ該事業ノ遂行上何等ノ支
障ヲ來ササル而已ナラス結果ヨリ見レハ右流用ニヨリテ却テ事業
上ニ便益ヲ與ヘシ狀況ナリ

流川内詳左ノ通り

八年度	一、九九六、八二〇	九年度	二〇、八四三、三四〇
十年度	八六〇、五二、一六〇	十一年度	二、三七七、六四八〇
計	一、三三、六六六、八〇〇		

第四 使途不明ノモノ一萬五千圓アリ

答辨 右ニ關シ調査スルニ検査院實地検査ノ當時ハ帳簿不整理ノ

外 務 省

S 8000-1 669

(已 號用紙)

爲遂ニ其原因ヲ探究スルニ由ナカリシモ其後精査スルニ右ハ
使途不明ナリシニアラスシテ事實經費中假拂金ノ記帳洩ノ事
頃數年ニ亘リ多々アリシ結果ニシテ既ニ整理完了セリ之レヲ
年度別ニセハ即

八年度	三、九八四、六三〇	九年度	三、〇一、六三〇
十年度	六、七〇四、八一〇	十一年度	一、七一三、四三〇
計	一、五、四一、四五〇〇	ナリ	

右記入漏トナリタル理由ハ

元來同會ノ事業ハ其財源ヲ一般寄附金ト國庫補助金トニヨル
ヲ以テ其寄附金募集方法ハ各府縣ニ亘リ支部及委員部ヲ置キ
府縣知事ヲ支部長ニ郡市長ヲ委員長ニ囑託シ多數ノ委員ヲ任

外 務 省

S 8000-1 670

命シ各方面ニ亘リ募集ヲナスヲ以テ之カ着手ニ際シテハ豫メ
相當ノ資金ヲ其支部ニ交付スル必要アリ而シテ該資金ハ他日
寄附金ノ募集ヲ俟テ支部ノ經費トシテ控除サルヘキ一定ノ金
額(募集金ノ二割五分)ヲ以テ返済スル規定ナルニ依リ帳簿
上ニ於テハ假拂金トシテ整理ヲナスモノナルモ此資金タル假
拂金ハ募集區域ノ廣汎ナル爲其額常ニ壹萬圓ヲ下ラス尙其他
外交事務員旅費概算渡等假拂金ニ屬スルモノ多ク從テ之カ整
理ハ複雑ナリシニ遇々前記會計擔當者ハ事務ニ不熟練ノ爲假
拂整理ノ方法ヲ知悉セス結局戻入トナルヘキ支出ニ付之カ戻
入精算ノ際記載セハ差支ナカラント云フカ如キ考ヘヨリ自己
ノ手控帳ノモノニ別記シ本帳簿ニ記入セサリシ爲前記ノ如キ

(已號用紙)

外務省

S 8000-1 671

記帳洩レノ失態ヲ演シタルモ右ノ事實判明セシ爲既ニ夫々整
理済ナリ

第五 寄附金募集ニ元貸ト記ムヘキ出費少カラス

答辯 寄附金募集上ノ經費ノ如キハ同會理事者ニ委ネ本省ニ於テ
深ク立入カ如キハ寧ロ避クルヲ適當ト記ムルモ同會ニ於テハ
先頃ヨリ自發的ニ從來ノ募集方法ヲ改メ經費ノ節減ヲ計リ始
レリ

参考 從來募集金ノ五割ヲ要セシヲ四割五分ニ減セリ

第六 上海醫院建設ニ關スル補助金受領済ナルニ拘ラス其建築未着
手ナリ

答辯 上海醫院敷地買收原價ハ二十六萬九百五十八兩五十仙ニシ

(已號用紙)

外務省

S 8000-1 672

H-0002

0197

(已號用紙)

テ此換算邦貨三十五萬二千五百一十一圓七錢ナリ而シテ本醫院
建設ニ關スル國庫補助金ハ合計三十二萬圓ニシテ此中検査院
實地検査當時ニ於テ二十三萬餘圓ヲ支出シ殘額約九萬圓ヲ存
シタルモノナルカ本殘額モ其後敷地買收費借入金拾貳萬圓中
ノ償却ニ振當テタル爲特局補助金ノ全部三十二萬圓ハ土地買
收ノ爲ニ使用セラレタリ

検査院ハ國庫補助金三十二萬圓ハ敷地買收及醫院建築ノ爲ニ
補助セラレタルモノナレハ補助金ノ全部ヲ敷地ノ買收費ニノ
ミ使用シ盡シタルハ不都合ナリトノ非難ナルカ如キモ抑々同
仁會カ上海醫院ノ建設ヲ企テタルハ大正八年中ニシテ當時病
院ノ敷地及建設費トシテ總額百二十萬圓ヲ計上シ之カ財源ハ

外務省

S

8000-1

673

(已號用紙)

國庫補助金ト一般寄附金ニ依ルコトトシタルモノニシテ政府
ハ九十年^オ度ニ亘リ國庫補助金三十二萬圓ヲ下附スル事トナリ
タルニヨリ同會ハ此補助金ヲ基本トシ不足額ハ寄附金ヲ以テ
支辨セントシ之カ募集ニ極力^カシタリ然ルニ時恰モ大戰後ニ當
リ物價暴騰甚ク到成最初ノ豫定價格ヲ以テ醫院ノ建築因
難ニ至リタル一方財界不況ノ結果寄附金募入ノ成績全然豫期
ニ反シ國庫補助金ヲ以テ辛クシテ敷地ノ買收ヲ了シタルモノ
ナリ斯ノ如ク元來國庫補助金ト寄附金ト兩^カ相俟テ本醫院ノ
完成ヲ期シタルモノニシテ補助金下付ニ際シテモ敷地買收ニ
幾何病院ノ建築ニ幾何ト區分シタルモノニ非ス國庫補助金カ
敷地ノ買收費ニノミ充テラルト病院ノ建築費ニノミ充テラ

外務省

S

8000-1

674

H-0002

0198

(已號用紙)

ルト將又兩者ニ分割擬當テラルルトハ其間フ所ニ非ス要ハ
敷地ノ買入、病院ノ建築費中何レカニ向テ使用セラルルニ於
テハ補助ノ目的ニ反スル所ナシト認ム此點ニ漏シテハ本省ハ
検査院ノ解釋ト其見解ヲ異ニスルモノナリ
補助金使用上目的ニ違フ處ナシトスルモ敷地ノ購入ノミニテ
ハ補助當初ノ意義ヲ完フセサルニ非スヤ
或ハ右ノ如キ非難モ無之ニ非サルヘキモ元來本計畫ハ前段述
フル所ノ如ク寄附金ト國庫補助金ノ兩者ニ依テ完成セムトシ
タルモノナル處寄附金ノ募集ハ殆ト豫測セサリシ經濟界ノ不
況ト云フ事實ノ爲メ一大頓挫ヲ成シ爲ニ豫定計畫ノ遂行ニ懸
延ヲ見ルノ止ムナキ破目ニ陥リタルハ遺憾トスル所ナルモ國

外務省

S

8000-1

675

(已號用紙)

庫補助金ニ依リテ敷地ノ買収ヲ完了シ豫定計畫ノ幾分カラ
行シ得タルモノナレハ補助ノ精神ヲ全然無意味ニ了ラシメタ
リト云フハ當ラス
醫院建築ニ關スル今後ノ方策如何
本醫院ノ建築ニ關シテハ大正十二年度ヨリ三ヶ年ノ繼續事業
トシテ新ニ百二十七萬九千圓ノ設計書ヲ具シ既ニ契約済ナル
寄附金四十萬圓ト更ニ三十萬圓ノ收納ヲ見込ミ不足額六十萬
圓ハ三ヶ年ニ亘リ國庫補助相成度旨申請アリシモ本年度ハ一
般財政緊縮ノ故ヲ以テ遂ニ採用スルヲ得サリシモ寄附金ヲ以
テ出來得ル限り計畫ノ遂行ヲ期セムトシツツアリ

外務省

S

8000-1

676

H-0002

0199

國庫賠償金ノ使途

(一) 英國ノ分

(一) 英國政府ニ於テハ英支兩國ニ有益ナリト認メラレタル目的ニ使用セラルルヲ條件トシ且ツ議會ノ承認ヲ俟ツテ之カ支拂ヲ remit スルコトニ決定シ其旨大正十一年十一月七日附宜本邦英國大使來翰ヲ以テ帝國政府ニ通報シ來レリ
同年十二月在支英國商務參事官吉田ヲ來訪シ英國政府ハ之ヲ支那ニ於ケル學校病院其他英國ノ對支文化事業ニ亦當スル等ナル旨内話シタリ

(已號用紙)

外務省

S 8000-1 677

然レトモ具體的ニ呈シテ如何ナル事業ニ費ヤサルヘキヤニ付テハ未タ的確ナル情報ナキモ未タ何等決定スルニ至ラサルモノト思考セラ

(已號用紙)

(二) 大正十一年十二月二十二日ノ「タイムズ」ハ本件金額ハ之ヲ支那學生ノ教育ニ使用スルモノナリトテ政府ノ措置ヲ稱揚シタル上支那カ今日要求スルハ醫師農工林業技師ナルカ右等教育ハ出來得ル丈ケ支那内地ニ於テスルヲ可トス云々ト論シタリ
本年一月香港大學長「サー・ウイリヤム・ブルニエート」氏ハ其一部ヲ同校ノ經費ニ亦當スルト同時ニ支那各都市ニ同校類似ノ學校ヲ建設スヘキ旨ヲ主張シ「ジョルダン」氏モ專ラ支那人ノ教育事業ニ亦當スヘキ旨ノ意見ヲ發表シタリ

外務省

S 8000-1 678

H-0002

0200

尙本年二月在支英國商業會議所聯合會ニ於テ左記ノ通決議シタリ
 「本資金ヲ最モ有益ニ使用シ得ル途ハ英國式ニヨル支那人ノ教育
 ト支那ニ於ケル英國人ノ醫學教育及病院事業ノ補助トナス」
 而シテ之カ方法トシテハ「第一ニ支那ニ於ケル英國人監理ノ中
 學校ニ補助ヲ與ヘ、中學校ノ入學生ヲ養成スル初等學校ノ發達
 ニ對シ補助金支給ノ規定ヲ設ケ且ツ此等初等學校ヨリ中學校ニ
 入學シ又ハ中等學校ヨリ香港大學（又ハ英國大學）ニ入學スル
 學生ニ對シ獎學資金支給ニ關スル規定ヲ設クルコト」
 尙支 那ニ於ケル醫學教育事業ニ當ル英國人團體タル「ユニオン、
 インスケチ ユーシヨン」ノ事業及英國式工業教育ニ對シ財政的援助
 ヲ與フルコト

(已號用紙)

外 務 省

S 8000-1 679

(三)英國政府ニ於テハ以上各方面ノ輿論ニ順マ結局支那ニ於ケル教育
 及病院其他ノ文化事業ニ充當セシムルニ至ルヘント思考セラレ
 (四)米國ノ分
 (一)米國政府ハ一九〇八年七月兩國取分ノ約半額額ヲ免限シ之ヲ左記
 ノ通ノ目的ニ充當スルコトトシタリ
 (イ)返附ノ第一年ヨリ四年間毎年一百名ノ留學生ヲ米國ニ派遣シ第
 五年以後ハ毎年少クトモ五十名宛ヲ遣米セシムルコト
 (ロ)外交部ハ此等留學生ニ對スル予備學校ヲ設置スルコト（北京精
 華學校即チ之ニナリ）
 (ハ)留學生ノ陸衛監督及右學校ノ經費ニ當ラシムル爲外交部及米國
 公使館員ヨリ成ル理事會（委員三名）ヲ組織スルコト

(已號用紙)

外 務 省

S 8000-1 680

H-0002

0201

(已號用紙)

(一) 尙米國政府ハ一九一七年十月一日以降ノ殘余額支拂免除ニ關スル
 協同決議院ヲ議會ニ提出シ大正十年八月上院ヲ通過シ目下下院外
 交委員會ニ轉屬中ナリ
 同決議案ニハ何等使途ニ付キ明記スル所ナキモ返附ノ方法及使途
 ニ付キテハ大統領ニ一任スルコトナリ居ルヲ以テ必スヤ賛ニ抛
 棄セラレタル分ト同様教育其ノ他ノ文化事業ニ充當セラルルモノ
 ナルヘント思ヒセラル

外務省

S 8000-1 681

(已號用紙)

(四) 佛國ノ分

(一) 佛國政府ハ中法實業銀行ノ救済並ニ支那ノ文化事業ニ充當スル目
 的ヲ以テ支那側ト交渉中ナリシカ大正十一年七月九日及同二十七
 日佛國公使ト外交總長トノ間ニ大要左記ノ趣旨ノ覺書ヲ交換シ本
 年一月議會ノ協贊ヲ經タリ

(1) 佛國政府ハ同國取分ヲ擔保トシテ五分利付金弗債券ヲ發行シ之
 ヲ中法實業銀行救済ニ振當ツルコト

(2) 且ツ其一部ハ之ヲ毎年北京ニ於テ佛支兩國政府間ニ協定セラレ
 ヘキ條件ノ下ニ教育及慈善ニ關スル佛支共同事業ノ費用ニ充當
 スルコト

(三) 中法實業銀行救済資金ト佛支共同事業ニ對スル資金トノ振當割合

外務省

S 8000-1 682

H-0002

0202

ニ付キテハ前記協定中ニ何等現定スル所ナキモ在支佛國公使ノ内
話ニ依レハ前者ニ對シ九分後者ニ對シ一分ノ割合ナル趣ナリ

(已號用紙)

外務省

S

8000-1 683

H-0002

0203

秘

對支文化事業特別會計法案

第一條 對支文化事業助長ノ爲特別會計ヲ設置シ其ノ歳入ヲ以テ其ノ歳出ニ充ツ

第二條 左ニ掲クル証券ハ之ヲ本會計ニ歸屬セシム

一 明治三十四年支那國及列國最終議定書第六條ノ規定ニ依リ支那國政府ヨリ受領シタル四分利付支那國債券

二 山東懸案解決ニ關スル條約第六條及第二十五條並山東總領事館目協定第十九條ノ規定ニ依リ支那國政府ヨリ交付ヲ受クル國庫證券中製糖業者ニ交付スルモノヲ除キタルモノ



8000-1

684

H-0002



三 山東懸案解決ニ關スル條約第十五條及第十八條並山東懸案鐵道協定第四條ノ規定ニ依リ、邦國政府ヨリ交付ヲ受ノル國庫證券中賠償金特別會計ニ歸屬セシメラルヘキモノヲ除キタルモノ

第三條 山東懸案解決ニ關スル條約第二十二條ノ規定ニ依リ設立セラルル會社ヨリ山東懸案細目協定第二十四條ノ規定ニ依リ受クル補償金中賠償金特別會計ニ繰入レラルヘキモノヲ除キタル殘額ハ之ヲ本會計ニ繰入ルヘシ

第四條 本會計ニ於テハ左ニ掲クル諸收入ヲ以テ其ノ歲入トヘ

一 所屬證券ノ償還元利金

二 所屬資金ノ運用利殖金

三 寄入金

四 附屬雜收入

第五條 本會計ニ於テハ左ニ掲クル事業ニ關スル諸費ヲ以テ其ノ歲

出トス

一 支那國ニ於テ行フヘキ教育、學藝、衛生及救恤ニ關スル事業

二 帝國ニ在留スル支那國人民ニ對シテ行フヘキ前號ニ掲クル事業ト同種ノ事業

業ト同種ノ事業

三 帝國ニ於テ行フヘキ支那國ニ關スル學術研究ノ事業

第六條 寄附金ニシテ特ニ用途ヲ指定シタルモノハ其ノ條約ニ依リ之ヲ使用スヘシ

第七條 本會計ノ歲出額ハ寄附金ニ依ルモノヲ除クノ外毎年歲二百

S

8000-1

686

S

8000-1

685

H-0002

0205

五十萬圓ヲ超過スルコトヲ得ス

第八條 本會計ノ決算上剩餘金ヲ生スルトキハ之ヲ積立ツヘシ

第九條 本會計ノ資金ハ大藏省預金部ニ預入レ之ヲ運用スルコトヲ得

第十條 政府ハ毎年本會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト供ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

附 則

本法ハ大正十二年度ヨリ之ヲ施行ス

大正十一年度一般會計ニ於テ明治三十四年支那國及列國最終議定書

第六條ノ規定ニ依リ支那國政府ヨリ受領シタル四分利付支那債券ノ

元利償還金收入トシテ受入レタル金額ニ相當スルモノハ本法施行ノ

際之ヲ本會計ノ歳入ニ繰入ルヘシ

S

8000-1

688

S

8000-1

687

H-0002

0206

對支文化事業特別會計法案理由書
對支文化事業助長ノ爲對支文化事業特別會計ヲ設置スルノ必要アリ
是レ本案ヲ提出スルノ所以ナリ

S

8000-1 689

H-0002

0207

對支文化事業特別會計所屬債分額及大正十二年度廢入額
 國庫賠償金債分

國庫賠償金當初ヨリノ元利總額 一〇七、八四〇、〇七九圓
 大正十一年十二月以後ノ未受領元利總額 七三、一〇八、七七六圓
 (償還期限大正三十四年)
 大正十二年度受領定額 三、六六三、五〇五圓
 (毎月十二分ノ宛分額受領)

公有財産補償國庫証分

公有財産及製鹽業補償國庫証分 一四、〇〇〇、〇〇〇圓

内譯

公有財産補償ノ分即チ對支文化事業

五三〇〇、〇〇〇圓

特加會計所屬ノ分(未定)

製鹽業補償ノ分(未定)

八七〇〇、〇〇〇圓

(利子年六分、償還期限大正廿七年)

大正十二年度利子收入

三一八〇〇〇圓

膠濟鐵道補償國庫証分

膠濟鐵道補償國庫証分總額

四〇、〇〇〇、〇〇〇圓

内譯

對支文化事業特別會計所屬ノ分

一四、五〇〇、〇〇〇圓

S

8000-1

691

S

8000-1

690

H-0002

0208

賠償金特別會計ノ分
 (利子年六分、償還期限大正廿七年)
 大正十二年度利子收入
 二五五〇〇〇〇〇
 八七〇〇〇〇〇

山東嶽山會社補償金

山東嶽山會社補償金總額

五〇〇〇〇〇〇

内 譯

對支文化事業特別會計ニ繰入レラルヘキ分 三三二六一三五圓
 賠償金特別會計ニ繰入レラルヘキ分 二六七三八六五圓
 右ハ無利息トシ會社ニ於テ八分以上ノ配當ヲナス場合ニ於テ右額
 過純利益ノ半額ト同額ノ金員ヲ支拂ヘキモノトナリ居レリ尤モ
 右支拂補償額ハ賠償金特別會計ニ於テ優先的ニ收納スルモノナル

ニ付近キ將來ニハ本特別會計ノ歳入トナルモノナカルヘシ



8000-1

693



8000-1

692

H-0002

0209

對支文化事業特別會計所屬債券ノ支拂年額割
 關匪賠償金大正六年十二月以後ノ未受領總額

七三一〇八七七六・四四八

内

元金總額 四四七〇八〇一二・一六六

利子總額 二七四〇〇七六四・二八二

大正十二年乃至大正二十年及大正三十年乃至大正三十四年毎年

二六六三・五〇五圓

大正二十一年乃至大正二十九年毎年

三八四五六・一六圓

外ニ計算上ノ不足額

六八二三圓



8000-1

694

公有財産補償國庫證券ハ製糖業補償ノ分ト合併セラレ居ルニ付後者
 ノ額未定ナルヲ以テ假ニ豫算ニハ五三〇〇〇〇圓トス(但利子六
 分一ヶ年据置十四年間ニ年賦償還ノコト但シ何時ニテモ三月ノ豫告
 ヲ以テ全部又ハ一部ノ償還ヲ爲シ得ルコト)

膠濟鐵道國庫證券

一四五〇〇〇〇圓

利子六分(十二年度ニハ八拾七萬圓)期限十五年但シ證券交付

ノ日ヨリ五年ノ終リニ又ハ其後何時ニテモ六月ノ豫告ヲ以テ全

部又ハ一部ノ償還ヲ爲シ得ルコト



8000-1

695

H-0002



對支文化事業特別會計所屬債券ノ支拂年額
 團匯賠償金大正六年十二月以後ノ未受領總額

七二、一〇八、七六六・四四八
 內

瓦金總額 四四、七〇八、〇一二・一六六

利息總額 二七、四〇〇、七六四・二八二

大正十二年乃至大正二十年及大正三十年乃至大正三十四年每年

三、六六三、五〇五圓

大正二十一年乃至大正二十九年每年

三、八四五、六一六圓

外ニ計算上ノ不足額

六、八二三圓

S 8000-1 696

公有財産補償國庫證券ハ製鹽業補償ノ分ト合併セラレ居ルニ付後者ノ額未定ナルヲ以テ假キ豫算ニハ五三〇〇〇〇圓トス(但利子六分一ヶ年措置十四年間ニ年賦償還ノコト但シ何時ニテモ三月ノ豫告ヲ以テ全部又ハ一部ノ償還ヲ爲シ得ルコト)

膠濟鐵道國庫證券

一四、五〇〇、〇〇〇圓

利子六分(十二年度ニハ八拾七萬圓)期限十五年但シ證券交付ノ日ヨリ五年ノ終リニ又ハ其後何時ニテモ六月ノ豫告ヲ以テ全部又ハ一部ノ償還ヲ爲シ得ルコト

S 8000-1 697

香港設
本省著
本年六月廿九日
高橋總領事
在任事
七

第四三號
台灣總督府、招請、應、領事會
議、參加、加、タル、香港、廣東、福州、
厦門、汕頭、雲南、在、勤、各、領、事、
官、對、又、文、化、事、業、之、旨、總、督、府、高
局、下、意、見、交、換、結、果、在、二、三、日、付、來
省、中、意、向、承、知、之、必要、認、
一、從來、事、業、中、外、務、者、文、化、事、
業、之、如何、調、和、又、其、中、其、文、化、事、
業、

S 8000-1 700

針如何
其大作、方針、南、文、化、事、業
中、事、業、新、設、充、實、擴、張、等、
要、之、費用、如、中、所、謂、臨時、中、費、
通、則、之、外、務、者、能、負、担、
其、然、當、之、必要、之、所、謂、經營、費、
總、督、府、於、之、負、担、之、便、ナ、リ、ト、思、
之、知、之、對、之、貴、見、如何、
就、之、右、呈、急、折、返、之、何、分、使、用、電
請、之、前、各、領、事、各、自、電、商、業、代
電、報、

S 8000-1 701

本 訂正通知

文化

臺灣省立教育館 訂正通知
省、文化事業、同左記、訂正方通知有之候
一、從來台湾、總督府、経営七、文化事業中、外務省、文化事業ト、

S 8000-1 702

H-0002

0214

9294 暗沙面発
本省着 大正十一年七月三日
内田外務大臣天羽総領事

第一五一號
貴大臣発公使宛電報第四〇三號

将大勵金支給、廣東省学生ニモ
及、キヤ若シ然、貴電列舉
條件中支那政府タル唯今、權
孫文政府當局ノ意味ニ解シ然
可キヤ本官參考迄、折込、
電ヲ請フ。 公使へ転電ヤ

S 8000-1 703

H-0002

0215